

日本語文章表現

第2講 「文の構造」

入江 さやか(岐阜女子大学)



第2講 「文の構造」

【目 的】

文の組み立てや文の構造の基本的な理解を深める。具体的には、主語と述語の関係、修飾語と被修飾語の関係、読点・接続詞・副詞の用法、助詞の使い方を学び、効果的な文章の構築方法を習得する。これにより、より論理的で読みやすい文章を書くための基礎を築く。



第2講 「文の構造」

【学修到達目標】

- 文の組み立てや構造を理解し、正しく使用できるようになる。慣用表現、四字熟語、故事成語を使用した文章を評価し、適切な使用法を創造することができる。
- 既存の文章に対して、文の組み立てや構造を分析し、その効果を評価できる。
- 最も効果的な文の組み立てや構造について考察し、自身の文章に応用できる。



第2講 「文の構造」

ポイント

- ▶ 主語と述語の関係
- ▶ 修飾語と被修飾語の関係
- ▶ 読点の用法



第2講 「文の構造」 主語と述語の関係

▶ 主語と述語が対応するように書く。

×私の目標は、毎日ジョギングをします。

→ 毎日ジョギングをすることです。

×私の目標は、外国語を流暢に話せるようになります。

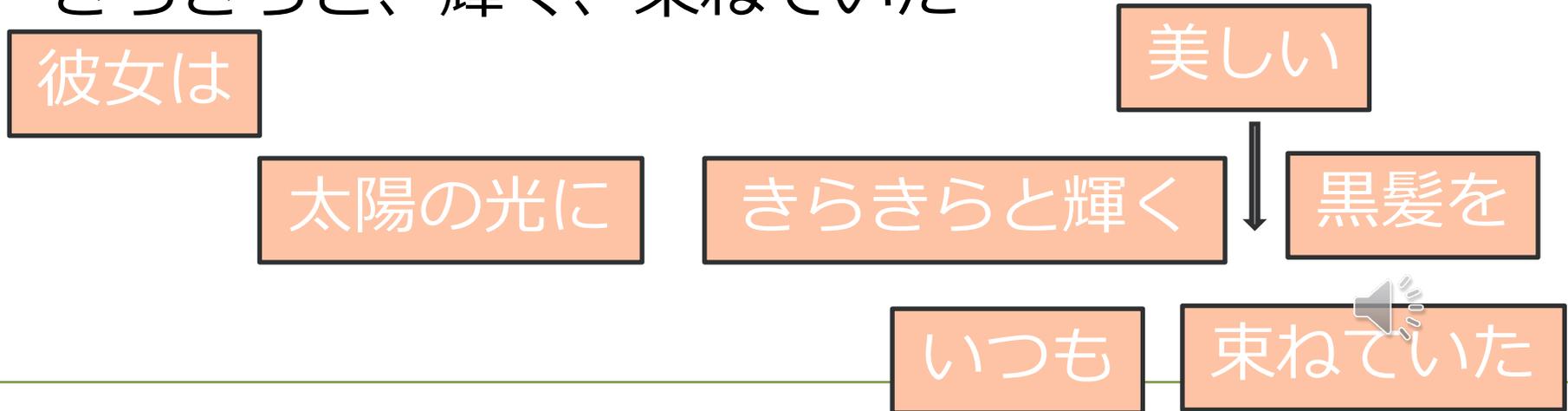
→ 話せるようになることです。

▶ 主語と述語をできるだけ近づける。



第2講 「文の構造」 修飾語と被修飾語の関係

- ▶ 修飾語と被修飾語はできるだけ近付けて書く
- ▶ 複数の修飾語がある場合、長い修飾語を先に書き、短い修飾語は、長い修飾語よりも被修飾語に近付ける。
- ▶ いつも、彼女は、美しい、黒髪を、太陽の、光に、きらきらと、輝く、束ねていた



第2講 「文の構造」 読点の用法

- ▶ 読点は、意味上の区切りを読み手に伝える。読点の位置によって、文の意味が変わる

山田さんは急いで私が作った書類を持って行った。

→ 誰が急いでいるのか曖昧

山田さんが急いでいる場合 → 急いでの後に読点



第2講 「文の構造」 読点の用法

▶あるいは修飾語と被修飾語を近くに置く
山田さんは急いで私が作った書類を持って行った。

「急いで」いたのが山田さんの場合
私が作った書類を山田さんは急いで持って行った。

「急いで」いたのが私の場合
私が急いで作った書類を山田さんは持って行った。



課 題

1. 第1課のIVの文の構造とVの助詞までの問題を解き、理解を深める。（指定のテキスト：13～24頁）
2. 確認クイズを解く（課題1の復習問題）
3. 与えられた文章を分析し、文の構造や助詞の使い方を評価するレポートを作成する。このレポートでは、文の効果的な構造とその重要性について論じる。



日本語文章表現

第2講 「文の構造」

入江 さやか(岐阜女子大学)